

わがまち老上だより

13号

<http://www.kusatsu.or.jp/machikyoku/oikami/>

編集・発行 老上学区まちづくり協議会・草津市老上市民センター(老上公民館)

〒525-0055 草津市野路町 520 番地 TEL・FAX 564-1430

 ふるさと老上のこころ
 自主(進取の心) 協同(連帯性)
 敬愛(人権尊重)

みまもり・つながる・老上ファミリー②

気持ちよく暮らせること、
そして安心して住めること。

ドリカムの曲が流れる午前のひととき。老上市民センターの一室では、30代から70代の女性や男性が気持ちよくからだを動かしています。バランスボールを使った有酸素運動で、定員を上回る人気の公民館講座「バランスボール de リフレッシュ♪」の一風景。講師は江藤沙織(えとう さおり)さん。隣近所はみんな顔見知りという甲賀市の小さな町で生まれました。いまはJR南草津駅前のマンションに暮らす2児のママ。「出産して退職するまで、女性の筋トレを指導する仕事をしていました。10代から80代までの方をサポートする中で、筋トレは大切だと気づきました」



と江藤さん。ママにとっては幼い子ども達と一緒に参加できるのも大事なポイントです。

その江藤さんの関心事のひとつがマンションの安心安全のこと。災害時にはマンション住民と地元民が連携が必須です。草津市や老上学区まち協の安心安全部会と共に「防災ウォーク」を企画し、マンションにお住まいのママ友や子どもたちと避難経路や備蓄品の確認をして回りました。つながりの強い田舎で育った江藤さん。老上でも地元の人とのつながりを大事にしたいと思っています。地域が、家族を見守り、安心安全という同じ目線でつながる。老上はいま、そんなまちづくりをマンション住民の方々と地域の町内会のみなさんが一体となって進めています。「おいかみ健幸バランスボール教室」◆50~70代の参加者募集中◆お問合せは大橋(090-6980-6713)まで



◆老上・まち協・レポート①◆

「災害が起こった時、どうすれば？」 子育てママたちの不安から生まれた、 防災ウォーク。

災害時の行動を知っておきたい。マンションにお住まいの、そんなママたちのご提案に応えようと、安心安全部会が防災ウォークを実施しました。7月12日(火)当日、雨天にもかかわらずJR南草津駅前に集合。草津市の危機管理課岩佐さんが災害時移動の注意点を指摘しながら、避難経路を一緒に歩きました。消防倉庫では消防団員が説明、そのあと避難場所の小学校に到着。そして老上市民センターで備蓄倉庫を確認。「実際に災害にあえば、鏡張りの建物の横は危険とか、レンガ道は歩きづらいなど、いつもの風景ががらりと変わりました。安心して暮らすためには知識を得る防災講座だけではなく、実戦を想定した防災意識を高



める必要を感じました」と、ある参加者の声。若いママたちにも、“実際”を体感する有意義な一日となりました。

「もし人が倒れていたら！」心肺蘇生法と AED 体験講座を実施。8月26日(金)

万一の時あなたが人を救えるすべを少しでも知っていたら…老上市民センターと安心安全部会は、共催で体験講座を実施しました。消防隊員から救急車が来るまでの早期対応の必要性を聞き、いざという時の心肺蘇生法とAEDの使い方を体験。「最初は怖いと思っていましたが、実際に体験したらできるかもと感じた」「話を聞いて体験でき、よかった」と講座をうける前より一歩踏み込んだ感想が聞かれました。



※安心安全部会では、今後も積極的に部会活動を進める予定です。その都度お知らせしていきます。

キックオフ！は 1974 年。 老上サッカースポーツ少年団 (老上 SSS)

輝け！老上っ子④

春に老上学区が分離した中、ふたつに分かれてもチームはひとつを実践しているのが、老上サッカースポーツ少年団 (老上 SSS)。創設は 1974 年、



ことしで 42 周年を迎えます。草津市の少年スポーツの中でもひときわ長い歴史があり「創設以降は県で 2 度の優勝経験もあります」と代表の石田博さん。現在子ども達の人数は、老上小・老上西小の両校を合わせて 34 名。親・子・孫の三代でメンバーの選手もいます。コーチ陣は石田さんのほか、監督の杉本さん、八ッ橋さん、若林さん、卒団生の土肥さん、木下さんの 6 名。チームのブログには、試合予定、経過、結果報告など、杉本監督、八ッ橋コーチのあたたかいコメントが添えられています。チームのモットーはコミュニケーションの大切



さを学ぶこと。そのひとつがサッカーノート。試合での反省や改善点、サッカー以外での相談など、子どもとコーチが文章を交換することで対話を深めます。人としても成長してほしい思いが込められています。「老上から、立派な」リーガーが育ってほしいという願いもありますね」と石田さん。歴史を重ね、走り続ける老上サッカースポーツ少年団は、育ちゆく老上学区の象徴ともなっています。

老上 SSS 創設時に尽力された黒川孝治さんのお話。

昭和 56 年に開かれた滋賀国体が滋賀サッカーのひとつの転機。選手が育ち指導者が生まれ、滋賀のサッカーが向上した。国体のセレモニーに老上の子ども達も参加して、滋賀のサッカー史に足跡を刻むことになりました。

老上史上初！「老上こども王将戦」輝け！老上っ子④

がんばってるのはスポ少の子だけではない。8月20日(土)に子ども将棋大会が開催されました。地域協働合校主催で公民館の囲碁将棋サロンや立命館大学将棋研究会のみなさんの協力を得た大会。14名の参加があり、小学生の部と中学生の部に分かれ5局もの連戦です。「お願いします」の声を合図に熱戦が繰り広げられました。将棋は、礼に始まり礼に終わり、スマホゲーム等にはないさわやかさと礼儀正しさが



あります。結果は小学生の部は野村怜央君(老上小五)、中学生の部は大林真央人君(光泉中二)が優勝。大林君はこの後、立命館大学の山本将太郎さんとの記念対局も激戦を制しました。市民センターでは秋から子どもたち対象の将棋の自主教室を開催する予定です。(大会実行委員長 田村 強)

南草津団地自治会 夏祭り

8月20日(土)毎年恒例の南草津団地自治会の夏祭りを開催。午前の部では子ども会行事のひとつとして樽み



こしの巡行があり、今年も子どもたちはおそろいのハッピーを着せてもらい記念撮影後に出発しました。当自治会も少子高齢化が著しく、約 280 世帯の町内において高齢者は約 300 名。小学生は約 20 名ですが幼児の人数は小学生の約 1.5 倍となっていて、今後少し期待が持てそうです。そのような中で、子どもたちは元気よく「わっしょい、わっしょい」と声を出して町内を回ってくれました。夏祭り開催にあたり、ご協力いただきましたみなさまに感謝しています。ありがとうございました。

(南草津団地自治会会長 桑原 信一)

■シリーズ「おいかみ伝承スポット」は今回休みます。

◆老上・まち協・レポート②◆

より親しまれるセンターをめざし、

「市民センター」は「地域まちづくりセンター」へ

より身近で、利用しやすい拠点をめざし、草津市は各学区の「市民センター」の名称を「地域まちづくりセンター」に改め、運営管理もより柔軟に地域によりそう制度を導入することを決定。実施はH29年春以降。わが老上も、いま市民センターで活動する老上学区まちづくり協議会がこの制度(指定管理者制度)に対応するべく準備を進めています。その動きも、本情報誌等で詳しく報告していきます。

老上の3つの事業に、がんばる地域応援交付金が支給されることになりました。

草津市からの募集要項に基づき、各町内会長らと練り上げたアイデアを書類にまとめて、申請しました。その結果、がんばる地域応援交付金を支給いただくことになりました。実施の日程や内容などは追ってお知らせいたします。以下、決定した3事業—

① 応援！チーム老上

「がんばるキャラクター・プロジェクト」

② 地域協働合校で米作りの次は！

「お花畑をつくろう・プロジェクト」

③ 老上に安心を！「ネットで運用する SOS

(Save Oikami Safety) システム・プロジェクト」



わんぱくフラザ老上

**田植え、田踏み、稲刈り。3回の
田んぼ作業で米づくりを体験しました。**

子どもの参加総数約 180 名。春の田植えに始まり、苗の成長を見守る田踏み、そして最後は 9 月 17 日の稲刈りで収穫を体験。どろんこになりながら、楽しく学んだ米づくり体験でした。お昼は新米コシヒカリで作ったおいしいおにぎりをいただきました。

支援いただいたふれあい農業高校のみなさんありがとうございました。わんぱくの元気な活動は、まだまだ続きます！



テントはり、魚釣り、キャンプファイヤー…

7月16、17日は一泊二日のサマーキャンプ。

魚をはじめて手でつかんだ子、今夜眠るテントを張った子…好奇心や新発見をいっぱい体験できたサマーキャンプでした。親サポーターの方々にたくさんお手伝いいただきました。保護者のみなさまにお礼申し上げます。



夏休みの友

**テーマは「伝えたい戦争のこと」。
すいとんをつくって、食べて、考えました。**



今年で 4 年目を迎える「夏休みの友」は市民センターで日頃学んでいるおとなたちとともに学ぶ体験活動。今年は“点字”“3B 体操”の他に「伝えたい戦争のこと」がテーマ（8 月 1 日開催）。戦争中の生活のお話とすいとんづくりをしました。すいとは、しょうゆ味に小麦粉を水でといたものを入れた団子汁。「いやになるほど食べてきた」と参加者のおじいちゃん、「おいしいおいしい」とはじめて口にする親子。「年に一度はすいとんを作って食べて、戦争のことを思い出し、平和な世界を願います」と金本きみ子さんがお話してくださいました。



年輪の会とすいとんづくり

昔は、ものが
なかったなあ



老上老(朗)人クラブ連合会

初企画・ロクハ荘で親睦交流会

7 月 29 日（金）参加者 42 名、福祉バスでロクハ荘へ。午前、グランドゴルフ組がロクハ公園お花見広場でショットを楽しみ、ニュースポーツ・ゲーム組は大広間でディスコンとオリジナルのさいころゲームを楽しみましたが、「あ〜あ」のため息がもれたり、また「ナイスショット!!」の大きな歓声、はしゃぎようはなんとも歳を忘れた子どものようでした。昼食のあと午後はカラオケ大会で盛り上がり、琵琶湖周航の歌を大合唱、お開きになりました。今回の企画は、老ク連としては初めてでしたが、オール老上・仲間意識は一人ひとりの胸にしっかりと刻み込まれたようです。

（老上老ク連副会長 畑 實）



ディスコン



さいころゲーム

がんばる老上の中学生

老上学区の中学生 2 名が、みごと受賞！

最優秀賞・老上中学校 立岡砂椰さん（下・左）

優秀賞・光泉中学校 武元唯衣さん（下・右）

7 月 3 日（日）に草津アマカホールで開催された第 32 回草津市青少年の主張発表大会。

4,000 名を超える応募の中から選ばれた 8 名の方が「私の主張」を発表しました。その結果、立岡さんの「私が最近考えること」が最優秀賞に、武元さんの「一番の味方」が優秀賞に輝きました。橋川渉市長ら列席のもと、ご家族や学校関係の方々に満席の会場でそれぞれ気持ちのこもった主張に熱い拍手が送られました。

（青少年育成区民会議 中川 均）



さらに、がんばる中学生

**老上中学校
ソフトボール部女子
近畿大会出場！**





わがまちショット

「老上 稔りの秋」



写真は、老上市民センターの写真講座（9月6日・28日開催）参加者・田村強さんから一枚。9月6日の屋外撮影実習の時に会った稲刈りの風景。遠近のシーンをうまく取り入れた、講師の先生も認めるワンショットです。

募集



みなさまの
わがまちショット
お寄せください！

老上のまちや人、風景、祭り
やイベントなどなど…

狙いましたワンショットを
お待ちしております。詳しくは
老上市民センターまで。

老上公民館講座やすらぎ学級 サークル活動も活発！

第3講「家族に寄り添う利き脳片付け術」7月1日（金）

講師の中里裕子さんから「人には利き脳があり、片付けもその人に合った方法がある。片付けのポイントは、使うもの・使わないもの・迷ったもの・使わないけど残すものと4つに分けて、使いやすく収納場所をきめること」などを学びました。



第4講「布絵にチャレンジ！」9月2日（金）

綿の代わりにスポンジを利用した布絵を山本紀久子さんから教えていただきました。ちりめんを型紙にくるみ、重ね合わせるとすてきなお花になりました。「私にもできた！」と喜びの声がありました。



☆お知らせ☆

◆人権を考えるつどい

第一回 10月26日（水）19:30～□橋岡会館

講師：水谷秀夫さん（橋岡町自治会副会長）

第二回 11月21日（月）19:30～□橋岡会館

講師：辻本長一さん（老上中学校校長）

主催：老上同和教育推進協議会・老上公民館・老上西公民館
※「コンニチ話おいかみ②」掲載の11/17は誤りです

◆うたひろば—親子で歌うわらべうた—

11月17日（木）10:00～11:00□老上公民館□要申込

講師：生野百合華さん 主催：老上公民館



◆老上学区・老上西学区合同子育てサロン

11月25日（金）10:00～12:00□南笠公民館□要申込

主催：老上・老上西学区子育てサロン推進委員会

◆彦根城防災研修の参加者募集

□11月4日（金）□行先：彦根城、UCC工場□集合場所：老上市民センター他□集合時間 9:00□会費 2000円□申込締切 10月10日□お問合せは自主防犯防災研究会 高橋（080-3790-5190）まで

福祉施設を訪問 老上学区社会福祉協議会

7月7日（木）社会福祉協議会から評議員19名が優愛保育園モンチ・やわらぎ苑・ツクイ南草津デイサービス・楽デイサービスの学区内福祉施設4か所を激励に訪問しました。いずれも七夕の催しの中でたいへん歓迎していただきました。それぞれの職員さんから施設の実態をうかがうとともに、入所者と歓談するひとときを楽しみました。



優愛保育園モンチ



楽デイサービス

老上学区・老上西学区合同敬老会

9月19日（祝月）、老上と老上西のご年配の方を敬う祝賀会が開催されました。参加者数は実に445名。オール老上で楽しいひとときを過ごされました。

午前と午後の部に分かれ、老上幼稚園児の歌や手遊び、老上中学生の吹奏楽や大正琴の演奏、さらに草津市を応援する草津ブースター「詩音」も参加して楽しいお話と歌を披露していただきました。



【編集後記】「老上学区内のことがよく分かっていいなあ…」今号もそんな記事満載の広報誌をお届けしました。これからもお読みいただいてタメになる広報誌づくりに努めてまいります。（M.H）